

NPO 法人 市川にオオムラサキを生息させる会

ごあいさつ

会員 支援者の皆様 平素のご協力とご支援を感謝いたします。
昨年の最大の課題は、新しく設計した飼育小屋を活用して、羽化したオオムラサキを交尾産卵させることでした。残念ながら、初めての試みは失敗に終わりました。本年度こそは、さらに

専門家の指導を仰ぎ、成功させるように頑張るつもりです。
市川市教育長の田中庸恵先生のご理解とご協力で、本年度から、市川市で理科教育の進んでいる中山小学校と若宮小学校をご紹介頂き、オオムラサキの飼育教育の支援をすることとなりました。
村井吉和

2 年度の事業活動報告

次の事業活動を行いました。
・オオムラサキ飼育とエノキ苗木管理
・ホームページの開設
・オオムラサキ幼虫飼育教室開設
・3 幼稚園に幼虫飼育中のエノキの苗木鉢貸出開始
・羽化したオオムラサキ観察かご展示
・1%市民活動支援団体承認受託

シジミ

貝なら「蜆」、蝶なら「シジミチョウ」前夜飲みすぎた翌朝のシジミ汁は別として、シジミ蝶は野原のイタズラ小僧！であるとは言え、コレクターはまず大型の蝶を目指すのではないのでしょうか。「オオムラサキ・モンキアゲハ・ナガサキアゲハ・アサギマダラ等々」私も少年時代過ごした 市川市で採集した標本を今も大切に保管しています。でも一番愛着を持っているのは、シジミ蝶の仲間です・

・地味でもあり、キラキラもしている。
・母指の先程の体型。チョンチョンと舞う。
・いつも出会えるのに、望むときは梢の上のミドリ・アカシジミ！
・ウラナミなどは夏休みの最後にやって来るので展翅しても 9 月 1 日には間に合わない。（最近では温暖化のせいか早目に出会えますが。）
とは言え、私が一番好きなチョウは「ゴイシジミ」笹類に群して タケノアブラムシをつついて蝶としてはめずらしい肉食です。

副理事長 城野 正幸

3 年度の事業活動計画

次の事業活動を計画しております。
・オオムラサキ飼育とエノキ苗木管理
・オオムラサキ幼虫飼育教室
・3 幼稚園に幼虫飼育中のエノキ苗木鉢の貸出継続
・中山小学校、若宮小学校のオオムラサキ飼育教育支援
・羽化したオオムラサキ観察かご展示

現支援者総数： 124 名
内、会員数： 38 名

編集事務局

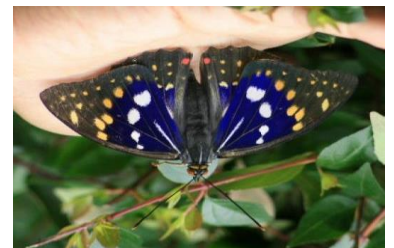
〒272-0813 市川市中 1-14-11
Tel 090-8963-3608
Fax 047-332-5266
E-mail ymurai06@gmail.com

オオムラサキ通理信

発行頻度 1 回/年
時期 毎年 4 月頃
発行部数 150 部
編集責任者 村井吉和

募集協力をお願い

- ① 会員
- ② 支援者
- ③ 活動員
- ④ オオムラサキ飼育教室会員



<http://www.oomurasaki.com>

(市川にオオムラサキを生息させる会)

NPO 法人 市川にオオムラサキを生息させる会

ごあいさつ

オオムラサキ通信をお読み頂き有難うございます。皆様のご支援で NPO 法人を昨年 6 月に設立し、2 年目を迎えることができました。

日本は、経済大国に発展しましたが、心を大切にしない貧しい国となってしまったことは大変残念です。

児童からシニアの方々まで、コミュニティー全体で、オオムラサキの飼育活動に参加して自然環境保全の大切さを体験して頂くことを願っております。

これからも、会員並びに支援者皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

代表 村井吉和

初年度の事業活動報告

次の事業活動を行いました。

- ・オオムラサキ飼育とエノキ苗木植樹
- ・ホームページの創設
- ・オオムラサキ幼虫飼育教室開設
- ・幼虫飼育中のエノキの苗木鉢貸出制度の開設と受入れ先開拓
- ・羽化したオオムラサキ観察かご展示
- ・1%市民活動支援団体承認受託

国蝶オオムラサキ

歴史的には、1933 年に蝶類同好会で国蝶を決める話が持ち上がった。提案理由は、①日本全国に生息している、②だれでも知っている、③大形で模様も鮮明、飛び方など日本的種類

1956 年 6 月 20 日、日本で初めて蝶をデザインとした切手が発売されたことから刺激を受け、1957 年、日本昆虫学会総会が国蝶に選定。

オオムラサキ飼育活動事例のご紹介

調布の深大寺境内には、地元のボランティアがお寺と協力して、エノキの植樹を行っており、オオムラサキの幼虫を飼育して、小屋を設定して観察させている。

茂原市には、長年、高校教師をされていた方が、小屋を建ててオオムラサキ生息活動をされている。更に、この方の指導された関係先が 10 件近くもある。

2 年度目の事業活動計画

次の事業活動を計画しております。

- ・オオムラサキ飼育とエノキ苗木植樹
- ・オオムラサキ幼虫飼育教室
- ・幼虫飼育中のエノキ苗木鉢の貸出制度の実施
- ・羽化したオオムラサキ観察かご展示
- ・1%市民活動団体支援プログラムのフォロー

事業活動予算と実績

初年度事業予算 38 万円（内、事業費 23 万円、管理費 15 万円）に対して、実績 44 万円（内、事業費 24 万円、管理費 20 万円）であった。2 年度の事業予算は、30 万円とする。

市川市市民活動団体支援制度

市川市は、他市に先駆けて市民税の 1%を市民の活動団体支援に当てている。昨年までは、131 団体が支援金取得の承認を受けており、当 NOP 法人も 134 番目の団体に登録され、11 万円を支援金として申請した。

現支援者数：122 名

会員数：22 名

(平成 27 年 1 月末現在)